



最寄駅 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩7分
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅から徒歩8分
都営バス「大塚二丁目」停留所下車徒歩1分



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

[問い合わせ先]
お茶大女性ビジネスリーダー育成塾:徽音塾 事務局
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
TEL/FAX:03-5978-5501(水・金 午前10時~午後5時)
E-MAIL:kiin-le@cc.ocha.ac.jp

<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>

お茶大 女性ビジネスリーダー育成塾

き いん じゅく
徽音塾

まなぶ みがくつながる
…> 一歩前へ!

2015

まなぶみがくつながる …> 一步前へ!



徽音塾の理念

2015年に創立140周年を迎えるお茶の水女子大学は、キャリアアップを目指す女性のためのお茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾を開講しました。

現在の日本においては、女性の幅広い分野での活躍を推進する機運がいまだかつてないほどに高まっています。しかし、優秀かつ意欲ある女性であっても、指導的地位に就き、リーダーシップを発揮することは容易ではありません。女性の活躍を推進する環境づくりに加え、女性自身の意識変革や、不安や悩みの解消、自信を涵養することが、いま、社会的に求められています。

このような背景から、企業等で管理職などの指導的な立場に就くことを目指す女性を主たる対象に、徽音塾は2014年に開講されました。本塾は、家事や育児等と両立可能な学習環境、および、学ぶ意欲のある女性に国立の女子大学ならではのきめ細やかで質の高い学びと交流の場の提供を目的としています。

徽音塾のキャッチフレーズ「まなぶみがくつながる → 一步前へ！」は、受講生だけではなく、「リーダーシップを発揮する女性を育成する」というお茶の水女子大学の社会的使命をも表現しています。本学は、創設以来一貫して、女性の自立と社会的活躍に寄与してきました。長い歴史のなかで、女性が学ぶ場を切り拓いてきた本学の新たな使命は、社会人女性が意欲的に学ぶ場を創造し、社会的変革に寄与しうる女性リーダーを輩出することであり、引いては女性が活躍する社会を実現していくことがあります。

徽音塾で学んだ女性たちが、それぞれの立場で最大限の可能性を開花していかれることを願っています。多くの方のご参加を歓迎いたします。

*塾の名前にある「徽音」とは、古くは中国の『詩経』大雅に見られることばです。直訳すると「美しい声」であり、「美德」を意味しています。徽音塾に集う女性たちが、自分を磨き、美しく響きあって共に学びを深め、実践に生かすことと、それが社会に共鳴の輪となって広がることへの期待を込めて名付けました。

リーダーに求められるマネジメント能力を体系的に学びあう



徽音塾の特長

- 01 企業等で指導的立場に就くために必要な経営学、組織マネジメント、リーダーシップ、財務会計等に関わる内容についての授業を提供します。
- 02 毎週土曜日午後に開講し、1講座から学ぶことができる、働く女性が受講しやすいカリキュラム設計となっています。
- 03 少人数制、ワークショップ形式を取り入れるなど、実践的な内容の授業を行います。
- 04 ネットワーキングランチ(昼食を兼ねた交流会)などを通じて、業種を超えたネットワーク作りの場としてご活用いただけます。
- 05 都心にあるお茶の水女子大学キャンパス内(文京区大塚)で開講され、アクセスしやすい環境です。

INDEX

P1
徽音塾の理念

P2
徽音塾の特徴

P3
2015年度
開講講座・講師一覧

◆春学期
(5月講座)
女性のエンパワーメントと
リーダーシップ

P4
(6月講座)
異文化コミュニケーション/
リーダーシップ

◆秋学期
(9月講座)
財務会計

(11月講座)
経営戦略・マーケティング

P5
◆冬学期
(1月講座)
コーポレート・ガバナンス/
CSRと情報開示

(2月講座)
企業と法律

P6
ネットワーキングランチ

P7
受講生の声

P9
2015年度
募集要項

2015年度 開講講座・講師一覧



春学期 Spring 授業時間 | 13:30~15:00、15:10~16:40(共通)

5月講座 女性のエンパワーメントとリーダーシップ

「女性はもっと活躍できる」5.9(土)

1人の働く女性としての私自身の経験や、労働省での行政経験、さらには、資生堂等の企業で経営者として取り組んできたことを踏まえて、企業における女性の活躍推進をテーマにお話をします。女性のさらなる活躍が必要である理由や活躍推進のための企業の課題を一緒に考えるとともに、先輩として参加者の皆さんに、仕事と家庭責任との両立、キャリアアップ、リーダーシップのとりかた等についてアドバイスをしたいと思います。



岩田 喜美枝 [公益財団法人21世紀職業財団会長]

1947年生まれ。1971年 東京大学教養学部卒。1971年 労働省入省。
厚生労働省雇用均等・児童家庭局長を最後に03年退官。03年株式会社資生堂に入社。
08年代表取締役副社長に就任。12年7月から顧問。12年3月からキリンホールディングス株式会社社外監査役。
12年7月から日本航空株式会社社外取締役。12年7月から公益財団法人21世紀職業財団会長。
現在の公職としては男女共同参画会議、中央教育審議会生涯学習分科会、消費者委員会等。

「女性活躍支援の実践-世界は仕事で変わる、仕事で世界は変わる」5.16(土)

変化の激しい現代社会において、ダイバーシティ推進は企業にとって重要な経営戦略の1つです。厳しいグローバル環境を生き抜くためには、女性活躍推進をはじめ、障がい者雇用などにも積極的に取り組む必要があります。講義では、日本IBMの実践ケースに注目し、日本の女性にはこれらどんな働き方が期待されているかなどについて、受講生の皆さんと議論を展開します。



梅田 恵 [日本アイ・ビー・エム株式会社 人事 ダイバーシティ&人事広報担当部長]

上智大学文学部心理学科卒業後、1987年日本IBM入社。研究開発部門担当広報課長、人事広報部長を歴任。女性、障がい者、性的少数派、外国籍、世代、ワークライフに注目したプログラムの企画・開発を担当。日本IBM任意団体Japan Women's Innovative Network創設員。企業内保育施設の設立。障がい者雇用モデルの創出を目的とする一般社団法人企業アクセシビリティ・コンソーシアムの創立員。平成22年度厚生労働大臣表彰 最優良賞、日本生産性本部 第5回ワーク・ライフ・バランス大賞受賞。

「ダイバーシティ社会におけるワーキングマザーの働き方実践」5.16(土)

女性活躍推進が謳われダイバーシティが進む中で、自らのキャリアと出産・子育てなどのライフイベントとのバランスはどうすればよいのか。ワークライフバランスと言われる中、實際にはどうやって両立しているのか。IT業界で子育てしながらグローバル顧客を担当する講師の事例を参考に、日々悩みながらも自らの将来をステップアップさせるアクションの取り方を知り、ディスカッションを交えながら働き方を考えてみましょう。



角田仁美 [株式会社NTTデータ 法人コンサルティング＆マーケティング本部 コンサルティング部 課長代理]

大阪府出身。2002年株式会社NTTデータ入社。会計・経営分析、サプライチェーンマネジメント業務のコンサルティング・システム開発に携わる。現在はグローバル製造業のお客様を担当するコンサルタントで、1歳・5歳の二児の母。専門分野は会計・経営分析、サプライチェーン最適化・見える化、などの業務・ITシステム。

「これからの、女性のリーダーシップ～自分らしいリーダーシップを確立する～」5.23(土)

女性リーダーを取り巻く環境、リーダーシップの男女差、女性リーダーに特化した課題など、最新のリサーチや事例を紹介しながら、女性のリーダーシップのあり方について考えていきます。グローバルの女性リーダー育成の潮流と日本の現状の深い理解に基づき、女性がリーダーとなるうえでの実践的な課題克服法を提示します。双方向レクチャーやグループディスカッションを通して、受講者の主体的な学びおよび受講者間の学び合いを奨励します。



近藤 美樹 [Value & Vision LLC 執行役員]

青山学院大学文学部フランス文学科卒業。シドニー大学大学院ヒューマンリソースマネジメント・コーチング(心理学)修士(MA with Merit)。IMDビジネススクールStrategies for Leadership修了。ボストン コンサルティング グループ、日本ローレル株式会社の人事マネジャーとして幅広い人材育成施策に従事。2010年より現職。女性のためのリーダーシップ開発プログラム(Empower Women Leaders Program)主宰。専門分野:人材・組織開発(女性のリーダーシップ開発・ダイバーシティ&インクルージョン)

「死ぬまで縁が切れない経済と政治」5.30(土)

女性は経済と政治が苦手だといわれます。だからといって、相続税や各種行政手続きなど死ぬまで逃れられません。同じ教育なのに、男性に比べ女性が不利なのは差別だけではなく、法制度も関連していることがあります。そこで小さい問題でも男性がやらない問題を女性の視点にたって改革することで家族、地域、企業、法制度など社会は大きく変貌するのです。新たな視点をもった女性リーダーシップが求められる理由がここにあります。



篠塚 英子 [お茶の水女子大学名誉教授、人事院顧問]

1965年武蔵大学経済学部卒業、社団法人日本経済研究センター入社。1987年、お茶の水女子大学家政学部助教授。日本銀行審議委員、お茶の水女子大学(再就職)文教育学部教授、定年退職後、日本司法支援センター(法テラス)理事、人事院人事官。現在お茶の水女子大学名誉教授、人事院顧問。専門は労働経済学、金融政策、ジェンダー論。主著「日本の女子労働」「日本の雇用調整」等。総務省統計審議会委員、商学博士(慶應義塾大学)。

6月講座

異文化コミュニケーション／リーダーシップ

「多様性対応コミュニケーション」6.6(土)／6.13(土)

異なる価値観や行動様式を持つ人々とコミュニケーションを図るにはどのような点に気を付ける必要があるのか、異文化疑似体験学習を通して実践的に学びます。多様性に対応するコミュニケーション・スキル、傾聴、パラフレーズ、開かれた質問、リフレーミング、DESOなどを学ぶためにペア・ワーク、グループ・ワーク、ケース・スタディを行います。受講生の積極的かつ主体的な参加が求められます。



八代 京子 [麗澤大学国際経済学部名誉教授、株式会社海外放送センター顧問]

サイマル・インターナショナル株式会社同時通訳者、筑波大学現代語現代文化学系国際関係学類講師等を経て、1996年に麗澤大学国際経済学部教授。異文化コミュニケーション学会会長(1995年から1999年)。専門分野:異文化コミュニケーション、協調的問題解決法、英語教育

「貴女のリーダーシップのあり方を考える、作る」6.20(土)／6.27(土)

リーダーシップのあり方は千差万別です。この授業ではディスカッションを通じて貴女なりのリーダーシップについて様々な角度から考えます。授業はケースメソッドで行われます。ケースを自ら考え、グループで考え、そして皆で考えることで、自分なりのリーダーシップを見つめ直します。受講生は事前課題のケースをよく読み込んで自分だったらどう意思決定し行動するのか、様々な立場に身を置き考えることが求められます。



高田 朝子 [法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授]

モルガン・スタンレー証券会社勤務をへて、サンダーバード国際経営大学院国際経営学修士(MIM)、慶應義塾大学大学院経営管理研究科経営学修士(MBA)、同博士課程修了。経営学博士。

秋学期 Autumn 授業時間 | 13:30~15:00、15:10~16:40(共通)

9月講座

財務会計

「企業会計(財務会計及び管理会計)」9.5(土)／9.12(土)／9.19(土)／9.26(土)

本講座は、ビジネスリーダーを目指す上で身に付けておきたい企業会計の重要な事項を学びます。財務会計においては、簿記や会計の基本的諸原則、制度を解説した上で、実際の開示資料である有価証券報告書や会計上のトピックスに触れることで財務諸表への理解を深めることを、管理会計においては、原価計算の基礎及び損益分岐点分析、プロジェクト評価の方法、資本コスト等、管理会計の基本的な要素を知ることを目的としています。



中溝 恵津子 [中溝公認会計士事務所公認会計士]

1991年お茶の水女子大学家政学部卒業。政府系特殊法人勤務を経て、1995年大手監査法人入所。製造業、金融機関、学校法人等の監査に従事。2000年に独立、主として決算支援業務を行っている。

11月講座

経営戦略・マーケティング

「経営戦略の基礎」11.7(土)／11.14(土)

戦略とは何か? 戦略はなぜ必要か? 戦略を立てるにはどうすればよいか? どんなに優れた人が集まても、どんな優れた組織でも、戦略(目標や目的に向かってるべき方策)が不明確であれば、よい結果を生み出すことはできません。本講座では、企業のみならず「経営」には欠かせない戦略について、グループワークや講師との双方向のディスカッションを通して基本から優しく学びます。



露木 恵美子 [中央大学大学院戦略経営研究科(ビジネススクール)教授]

2003年北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士後期課程修了(博士:知識科学)。独立行政法人産業技術総合研究所ベンチャー開発戦略研究センター特別研究員、明星大学経済学部経営学科准教授を経て、2011年4月より現職。専門分野:組織論、戦略論、ハイテク・スタートアップ(ベンチャー起業論)

「マーケティング入門」11.21(土)／11.28(土)

マーケティングとは、顧客(マーケット)に商品やサービスを売るための「仕組み(商品開発、価格設定、プロモーション、流通ルート)」づくりをいいます。顧客という「(見知らぬ)他者への思い」を巡らせながら、彼らが喜んで買ってくれる商品やサービスのあり方について、ワークショップ形式で議論していきたいと思っています。準備するものは「他者への好奇心」と「遊びゴコロ」だけです。



神原 理 [専修大学商学部教授]

1995年兵庫県立大学大学院経営学研究科博士課程修了、同校助手、講師を経て、2000年4月より専修大学に勤務。専門分野:サービス・マーケティング、商品研究

2015年度 開講講座・講師一覧

冬学期 Winter

(授業時間 | 13:30~15:00、15:10~16:40(共通)

1月講座 コーポレート・ガバナンス/CSRと情報開示

「コーポレート・ガバナンスと組織・企業のマネジメント」1.9(土)/1.16(土)

企業、大学、行政、いずれも組織が機能するためにはマネジメントは不可欠です。組織内のチームは個人を基盤として形成されます。チームが機能するためには①理念を持ち、②目標を明確にし、③コミュニケーションをとり、④価値観と情報を共有することが必要です。本講義では、異なる文化、宗教、言語、価値観を持つチームメンバーを1つの目標に向かってまとめるためのマネジメントの基本を学ぶことを目指します。



松田一敬 [合同会社SARR 代表社員・業務執行社員]

慶應義塾大学卒業後、山一證券株式会社証券引受部を経て、同社ロンドン現地法人にて中東、アフリカ、東欧諸国等を担当。国内初の地域密着型VCである北海道ベンチャーキャピタル株式会社設立。2000年6月に札幌Biz Cafeを設立、サッポロバーのITベンチャーを支援。2000年9月、国立大学発ベンチャー第1号の設立に関与する等、大学発ベンチャー支援の国内の草分け。製薬企業向けマイリストーン契約の締結等、知財の事業化の実績を積む。2011年4月、京都に合同会社SARR設立。起業家教育、NEDOの科学技術商業化プログラムの企画・運営等、ハイテクスタートアップの支援等を行っている。仮INSEADにてMBA、北海道大学にて医学博士取得。文部科学省科学技術・学術審議会委員等公職多数。専門分野: 起業家支援、科学技術の商業化、ベンチャーファイナンス

「CSRと情報開示(ステークホルダーの視点から)」1.23(土)/1.30(土)

今や企業にとって欠かせない活動となつたCSRについて、その歴史やCSVなどの最新トレンドを説明し、企業と社会の関係のあり方を考えます。またCSRレポートや統合報告などの情報開示に関する潮流を、多数の事例とともに紹介し、企業を取り巻くステークホルダーの視点から情報開示を考えます。講座は演習やディスカッションを取り入れた双方向のものとします。



達脇 恵子 [有限責任監査法人トーマツ パートナー]

早稲田大学第一文学部卒。事業会社を経て2000年より現職。コンサルタントとして企業のガバナンスに関するプロジェクトに多数関与。専門分野: ガバナンス、リスクマネジメント、サステナビリティ

2月講座 企業と法律

「女性リーダーが使えるビジネス関連の法律」2.6(土)/2.13(土)/2.20(土)/2.27(土)

日常のビジネスに関連する法律や制度の知識を習得することを目的とします。消費者契約法、特定商取引法、PL法、景表法、独禁法、下請代金遅延防止法、会社法、金商法、コンプライアンス制度、内部通報制度、企業倫理、個人情報保護法、労働基準法、育児介護休業法、男女雇用機会均等法、パートタイム労働法、労働者派遣法、高齢者・障害者雇用、労働審判手続が対象です。可能な限り将来の法改正の方向にも触れたいと思います。



汐崎 浩正 [西村あさひ法律事務所 弁護士(パートナー)]

1989年 東京大学法学部第一類卒業、1997年 シカゴ大学ロースクール卒業(LL.M.)。「日本の独占禁止法の執行力の強化と国際ルール事件への対応」「企業不祥事のビジネスリスク」等を講演。The Legal 500 Asia Pacific 2015(労働法)、及びWho's Who Legal 2014(独禁法)で受賞。2014年度徽音塾「企業法務・労務管理」講師。

ネットワーキングランチ

各講座中1回(11:30~13:00)、ランチを兼ねて塾生同士のネットワークを構築するための交流会を開催します。

※塾生になりますと、全てのネットワーキングランチへ参加できます。
※参加は自由です。昼食代(実費)が別途必要となります。



◀ミニレクチャーの様子



交流会の様子▶

2014年度は、本学の教員を講師としたミニレクチャーをランチの前に実施し、交流を深めるきっかけづくりと日々の仕事や家庭生活に役立つ多彩な話題を提供していただきました。ネットワーキングランチ参加者からは、「多くの人と新しいネットワークを作ることができた」、「異なる業種の方のお話を聞くことで、新たな発見や共感を得ることができた」、等の声をいただきました。

【ミニレクチャー 一例】※所属と職位はミニレクチャー開催当時のものです

5月 「偶然をチャンスに変える!」
坪田 秀子 氏
(学長特命補佐)



6月 「装いをコミュニケーションツールとして活用しよう!」
内藤 章江 氏
(リーダーシップ養成教育研究センター 特任助教)



10月 「リーダーシップとキャリアを学ぶ」
井上 奈美子 氏
(リーダーシップ養成教育研究センター 特任アソシエイトフェロー)



1月 「『歯磨きの歴史』からみえること」
宝月 理恵 氏
(リーダーシップ養成教育研究センター 特任講師)



●講座内容、講師については、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●講師の所属、役職等は、2015年3月時点での情報になります。

Students' Voices

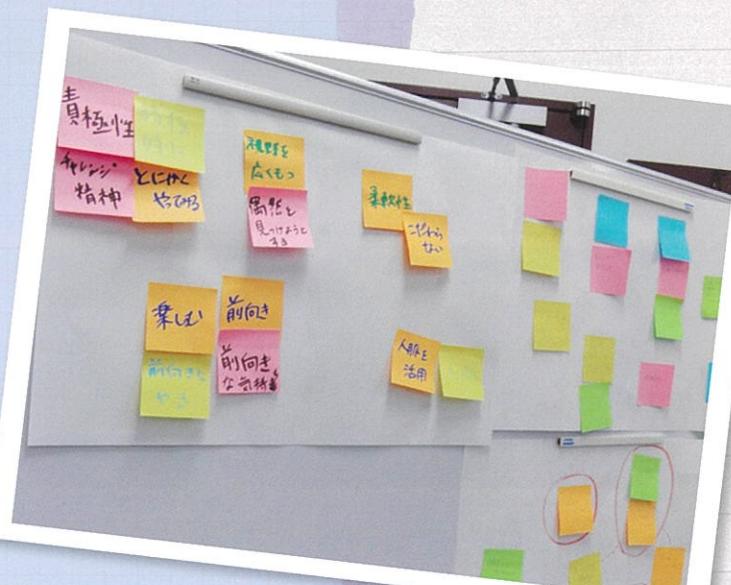
受講生の声



初めてケーススタディをグループで行った。
自分の意見とは違う方向からの意見が飛び交い、非常に刺激的だった。
(組織マネジメントとリーダーシップ)

先生が常にチャレンジ
していることがわかり、
たいへん勇気づけられるとともに
私も頑張っていきたいと思った。
(女性のエンパワーメント)

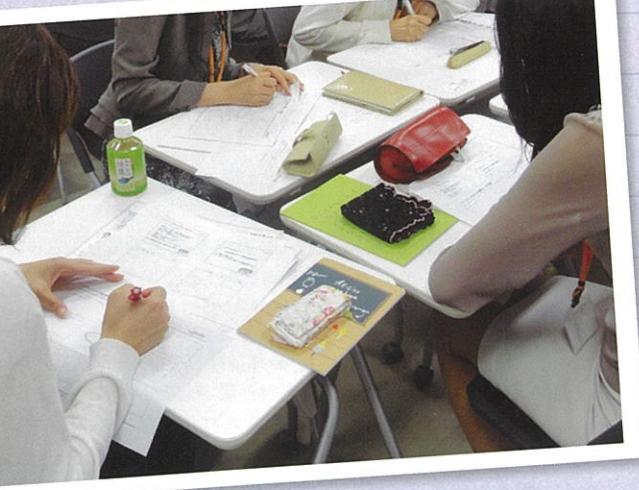
文化、価値観、ルールの違いを
どう受け止め、すり合わせて
合意形成をしていくのかは、
日々の業務を行う上で直面する問題で、
そういう場面での自分の癖を
自覚できたのが有益だった。
(組織マネジメントとリーダーシップ)



マーケティングの基本概念の
手法について学べた。
要素としてどのようなものがあるかという知識を得たうえで、
実際に使ってみることができて
よかったです。
(経営戦略・マーケティング)

非常に熱意のある講義で、面白かった。
実際に働くことへのヒントが
とても多く勉強になった。
講義を聞いて、今の会社では、
ある意味フェアにチャンスはあると思った。
このチャンスを生かして
成長につなげていこうと思う。
(女性のエンパワーメント)

二人組でディスカッション
したこと、自分一人では
思いつかない視点が得られ、
楽しく検討できた。
チームで企画する意味が
あることを実感した。
(経営戦略・マーケティング)



毎回、生きた情報を使っての
講義だったため、
とても勉強になった。
自分一人では難しい内容も、
耳で聞くと頭にすんなり入ってくるので
とても役立った。
(財務会計)

週に一度、いつもの業務と離れて
頭を使うことが楽しかった。
今後、業務の中で、
より利益の上がる商品づくり、
会計の視点を持った販売促進に
活かしていきたい。
そして将来のキャリアを考える
良い機会となったので、来年度も
徽音塾の受講をしてみたい。
(財務会計)

事例が多く出されていてとても分かりやすかった。
業務を遂行する上で、知っておくべき法律が多くあることに気づいた。
(企業法務・労務管理)

お茶大女性ビジネスリーダー育成塾:徽音塾

2015年度

募集要項

I. 徽音塾の概要

お茶の水女子大学は、女性リーダーの育成を重要なミッションとしています。お茶大女性ビジネスリーダー育成塾(以下、徽音塾)は、その使命の一環として、企業等で指導的立場(上位の管理職)に就くことを目指す女性を応援するために開設されました。徽音塾は次のような特長をもつ学びとネットワーク構築の場です。

- 企業等で指導的立場に就くために必要な経営学、組織マネジメント、リーダーシップ、財務会計等に関わる内容についての授業を提供します。
- 毎週土曜日午後に開講し、1講座から学ぶことができる、働く女性が受講しやすいカリキュラム設計となっています。
- 少人数制、ワークショップ形式を取り入れた実践的な授業を行います。
- ネットワーキングランチ(昼食を兼ねた交流会)などを通じて、業種を超えたネットワーク作りの場としてご活用いただけます。
- 都心にあるお茶の水女子大学キャンパス内(文京区大塚)で開講され、アクセスしやすい環境です。

II. 受講対象者

徽音塾の主たる受講対象者は、課長相当職に就く以前の年齢層(概ね20代後半~30代)の女性です。当塾は、女性ビジネスリーダーの育成を目的としているため、女性のみの募集になっています。各講座を受講するにあたっては、大学卒業程度の学力が必要となります。また企業等での就業経験のあることを前提とします。企業等で指導的立場(上位職、管理職)に就き、仕事における活躍の場を広げたいと考える女性の積極的な受講を期待しています。

III. カリキュラムと開講日程

2015年度は、以下の6講座を開講します。(各講座の内容、講師紹介はp3~p5参照)

| 日程 | | 講座名 | 授業時間(1日に2コマ) | 1講座の授業回数 |
|-----|-----|-------------------|---|-------------|
| 春学期 | 5月 | 9日/16日 23日/30日 | 女性のエンパワーメントとリーダーシップ 13:30-15:00(90分) 15:10-16:40(90分) | 1コマ(90分)×8回 |
| | 6月 | 6日/13日 20日/27日 | 異文化コミュニケーション/リーダーシップ 13:30-15:00(90分) 15:10-16:40(90分) | 1コマ(90分)×8回 |
| 秋学期 | 9月 | 5日/12日 19日/26日 | 財務会計 13:30-15:00(90分) 15:10-16:40(90分) | 1コマ(90分)×8回 |
| | 11月 | 7日/14日 21日/28日 | 経営戦略・マーケティング 13:30-15:00(90分) 15:10-16:40(90分) | 1コマ(90分)×8回 |
| 冬学期 | 1月 | 9日/16日 23日/30日 | コーポレート・ガバナンス/CSRと情報開示 13:30-15:00(90分) 15:10-16:40(90分) | 1コマ(90分)×8回 |
| | 2月 | 6日/13日 20日/27日 | 企業と法律 13:30-15:00(90分) 15:10-16:40(90分) | 1コマ(90分)×8回 |

☆各講座中1回、ランチを兼ねて参加者同士のネットワークを構築するための交流会を開催します。

(開催日は事前に連絡いたします。11:30~13:00、別途昼食代・実費が必要です)

IV. 募集人員

女性 30名(各講座)

V. 開講場所

お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2-1-1) 大学本館1階 127室



【最寄駅】

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩7分
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅から徒歩8分
都営バス「大塚二丁目」停留所下車徒歩1分

※土曜日は南門が閉鎖されているため、正門からお入りください。
※自家用車・バイク・自転車での通学は禁止されています。
※土曜日は学内の食堂・売店は営業しておりませんのでご注意ください。

VI. 受講料

※複数受講を希望される方は、2講座目以降における1講座当たりの受講料が1割引となります。
(本学卒業生・修了生は、2講座目以降における1講座当たりの受講料が25,000円となります。)

| 区分 | 受講料 | | | | | |
|-----------|---------|------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| | 1講座のみ | 2講座 | 3講座 | 4講座 | 5講座 | 6講座 |
| 一般 | 30,000円 | 57,000円 (30,000円+27,000円) | 84,000円 (30,000円+27,000円×2) | 111,000円 (30,000円+27,000円×3) | 138,000円 (30,000円+27,000円×4) | 165,000円 (30,000円+27,000円×5) |
| 本学卒業生・修了生 | 27,000円 | 52,000円 (27,000円+25,000円) | 77,000円 (27,000円+25,000円×2) | 102,000円 (27,000円+25,000円×3) | 127,000円 (27,000円+25,000円×4) | 152,000円 (27,000円+25,000円×5) |

◎別途、消費税を徴収します。

◎各講座期間中、1回交流会を開催しますが、別途昼食代が必要となります。

◎テキスト購入や授業で使用する教材等に係る実費が発生することがあります。

◎一旦納入された受講料は、本学や講師の都合、自然災害等により授業が開講できない場合を除き、返金いたしかねますのでご了承願います。

VII. 受講申込

1. 申込期間

春学期 2015年3月23日(月) ~ 2015年4月13日(月)必着

秋学期 2015年7月13日(月) ~ 2015年7月27日(月)必着

冬学期 2015年12月1日(火) ~ 2015年12月15日(火)必着

2. 申込書類

1)申込書(本学所定の用紙、初回申込時と申込後に変更があった場合のみ提出)

2)志望理由書(本学所定の用紙、講座毎に各1枚提出)

※徽音塾ホームページ(<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>)から

申込書及び志望理由書をダウンロードのうえ、申込書類を作成してください。

3. 申込方法・

申込書類提出先

申込期間内に申込書類1)と2)を初回申込に限り郵送(郵送以外不可)で下記へお送りください。

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶大女性ビジネスリーダー育成塾:徽音塾 事務局

※封筒に「申込書類在中」と朱書きしてください。

※一度塾生として登録されますと、メール(kiin-le@cc.ocha.ac.jp宛)による志望理由書の提出が可能となります。

4. 検定料

次項 VIII. 選考 に伴う検定料は無料です。

5. 申込上の注意

・申込書類に不備があるものは受け付けないことがあります。

・外国籍の方は、住民票に記載の本名を用いてください。ただし、日本名も同時に登録してある方は、日本名を用いてもかまいません。この場合、全ての申込書類の氏名は統一してください。

・一度受理した申込書類は返還いたしかねます。

VIII. 選考方法と選考結果の通知

受講生としての受入可否について、書類審査により選考いたします。選考結果は、申込締切後1週間程度で本人宛に電子メールで連絡いたします。合格者には、電子メールで受講手続(受講料の納入方法など)についてご連絡いたします。

IX. 評価と修了証の発行

出席回数と課題レポートによる評価後、講座ごとに修了証を発行いたします。4講座以上修了の場合は、全体修了証も別途発行いたします。

【注意事項】

・個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報の保護に関する法律を順守し、個人情報の適正な取り扱い及び最善の管理対策を講じるよう努めております。申込に当たってご提出いただいた個人情報は、本件以外に使用することはございません。

問い合わせ先

お茶大女性ビジネスリーダー育成塾:徽音塾 事務局

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

TEL/FAX:03-5978-5501(水・金 午前10時~午後5時) E-MAIL:kiin-le@cc.ocha.ac.jp